

第56回マクドナルド全国ミニバスケットボール大会出場報告書

[2025. 3. 28~29]

田布施ミニバスケットボールスポーツ少年団

監督 中本 靖 則

私たち田布施ミニバスは、3月28日~29日開催された「第56回マクドナルド全国ミニバスケットボール大会」に出場してきました。通常経験することのない大会に、山口県代表としてコートに立つことができ責任の重さと達成感を味わうことが出来ました。

思えば、1年半位までは、当時5年生は1人しかいませんでした。それが少しずつ増えて、昨年の今頃には5人になりました。これで、どうにか試合が出来るようになると喜んだものです。6年生になった時、子供達を集め今年度は何を目標にするかを話し合いました。色々な意見が出されましたが、現実的な意見として県決勝大会に出場したいという意見が多かったです。しかし、声の大きな子が「全国大会に行きたい」と言いだし、結局みんなが賛同して意見がまとまりました。ただ言うだけだったら誰でもできるので、それだけ「真剣に努力をしよう」となりました。

全国大会への道のりは、とても苦勞が多く簡単ではありませんでした。色々な意見や考え方の相違、試合中のパスひとつにしても投げ手と受け手の微妙なずれなど、子供達の涙を見たり雰囲気が悪くなることは多々あり、その都度現場の指導者は保護者・選手と話し合い、解決したりしなかったりと苦勞もたくさんありました。それが夏頃から相手を思いやるプレーや声掛けが多くなり、だんだんとチームが安定し試合をすることが楽しくなってきました。

対外試合にもたくさん誘っていただき、県内外で多くの強豪チームと対戦でき、経験値が増え、子供達への自信となっていました。対戦いただいた各チームの皆様にはとても感謝しています。ありがとうございました。

今回11年ぶり2回目の全国大会出場にあたり、私の目標は「この大会の最後は子供達と一緒に笑顔で終えよう」でした。

田布施 17 - 42 fighting girls KAMEDA [新潟県]

各県のトップが集まる大会です。どのチームも大きく強く強そうです。新潟県代表もサイズがあり体感が優れているとても良いチームでした。

田布施はスタートこそいつものようでしたが、2Qあたりから、緊張のためかシュートが入らなくなり最後まで波に乗ることが出来ませんでした。もちろん相手はとても強かったです。田布施としては悔いが残る試合になりました。

田布施 26 - 66 壱岐リトルソニックス [福岡県]

噂では聞いていましたが凄いチームでした。一試合目のため、コートでのウォーミングア

ップを見ましたが 15 人の選手全員が欠点は無く、170 cmを超える選手がダンクシュートをしていました。

試合内容は最初の試合と違い、言い方は悪いですが「負けてもともと」という感じでどんどん挑んでいきました。要所要所で点は取られますが、そんなことは関係なく大きな相手を必死で止め、オフェンスでは果敢に攻めていきます。望んでも対戦することが出来ない、日本で一番強いと思われるチームにとっても頑張ったと思います。相手チームも、点差に関係なく手を抜かずに試合をしていただき大変感謝しています。

田布施 47 - 36 造道ミニバス〔青森県〕

最後の試合です。このチームにも 170 cmを超える選手がおり、他にも長身の選手がいて全体的に大型で落ち着きがあるとても強いイメージのチームでした。しかし、二試合目に対戦した相手が強烈だったのと会場に慣れてきたことで子供達に緊張感はありませんでした。

前半はいつものように僅差のビハインド、後半は 6 年生 5 人がのびのびと試合をしました。今大会初勝利に、子供達はとても良い笑顔でした。

主将 寺岡美希

今回、田布施ミニバスは 11 年ぶりに全国大会に出場することができました。一試合目は緊張してプレーが上手いかず、なかなか田布施のシュートが決まりませんでした。二試合目も強豪チーム、気持ちで負けてしまいそうになりましたが最後まで諦めずにやり切ることができました。最後の三試合目は、それぞれが各自の役割をきちんと果たしチームプレーで勝つことができました。

全国大会では、山口県代表としてコートに立つ責任の重さを感じ、強いチームが集まるこのような大会での 1 勝の価値と喜びを学びました。この大会で得た経験は、私達にとってずっと忘れることのない宝物になりました。

この夢の大舞台で三試合も戦わせていただき、最後はみんな笑顔で終わることができたのも大会関係者の皆様、地元からも応援して下さった皆様のおかげです。ありがとうございました。

これからも、感謝の気持ちを忘れずに次の目標にむかって歩んで行きたいと思います。

